

経営比較分析表（令和2年度決算）

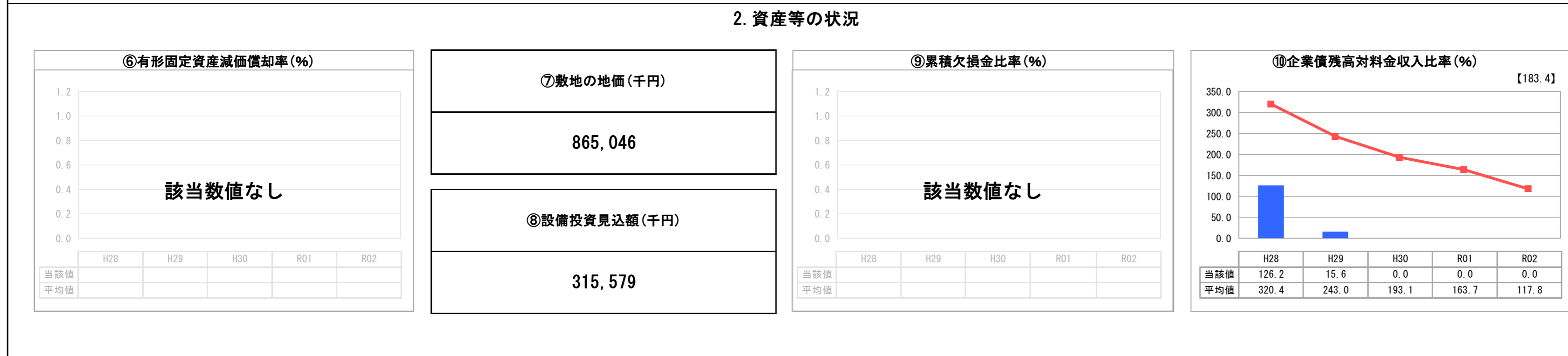
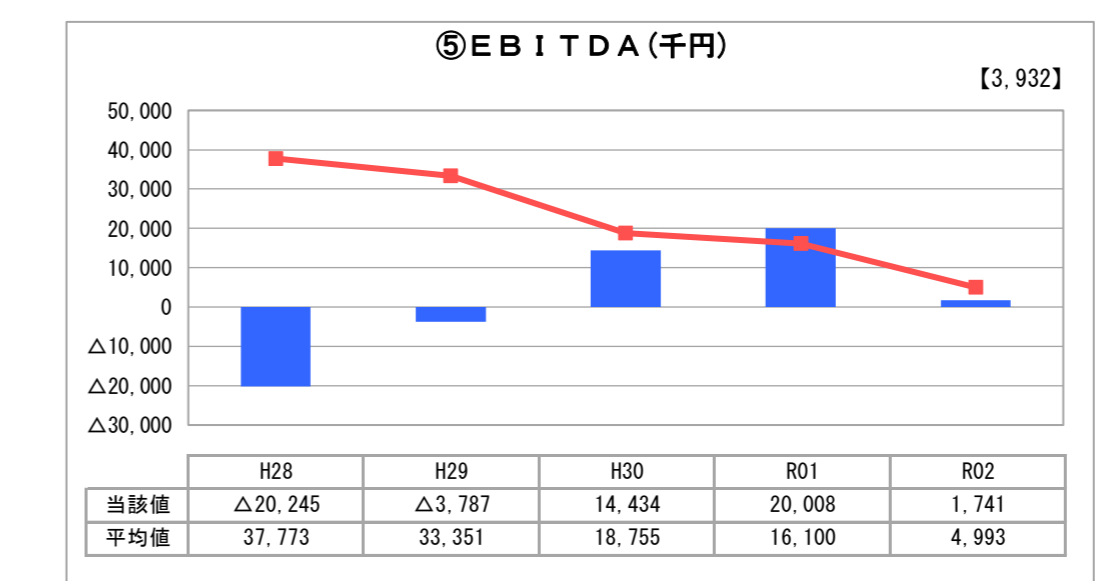
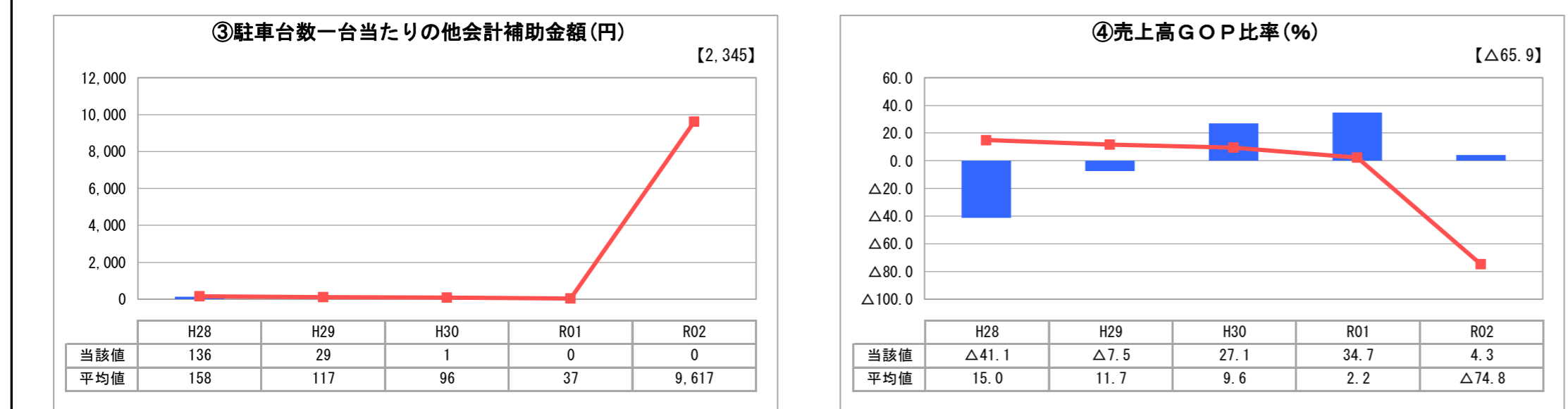
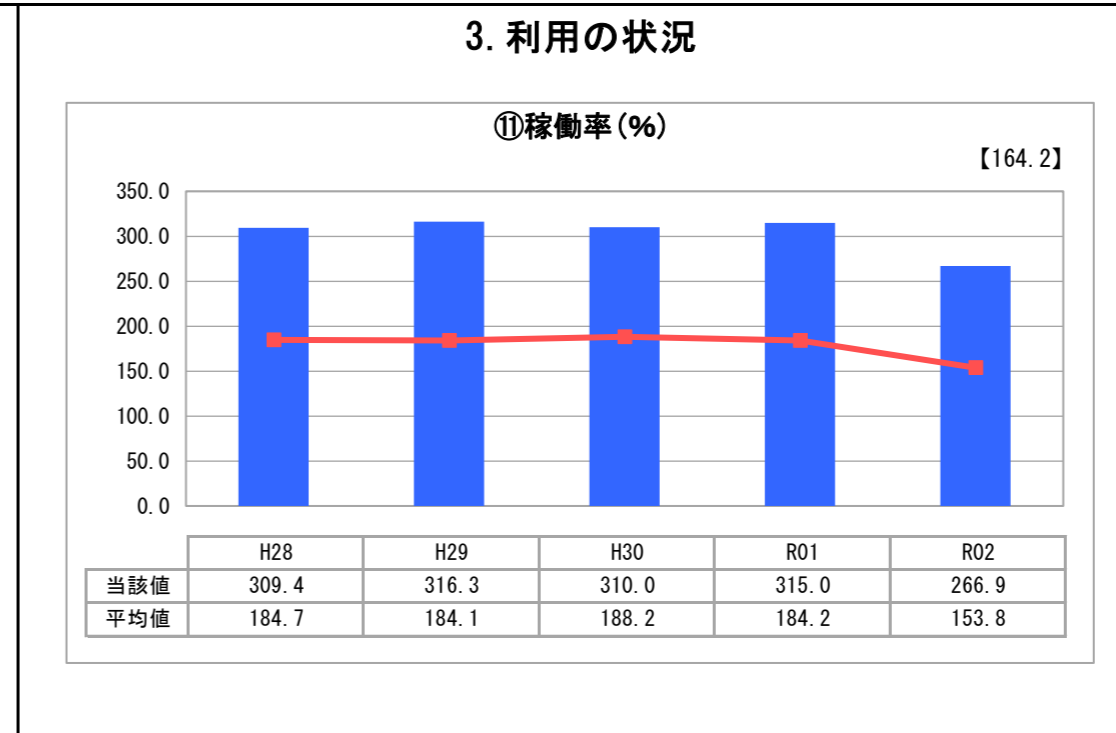
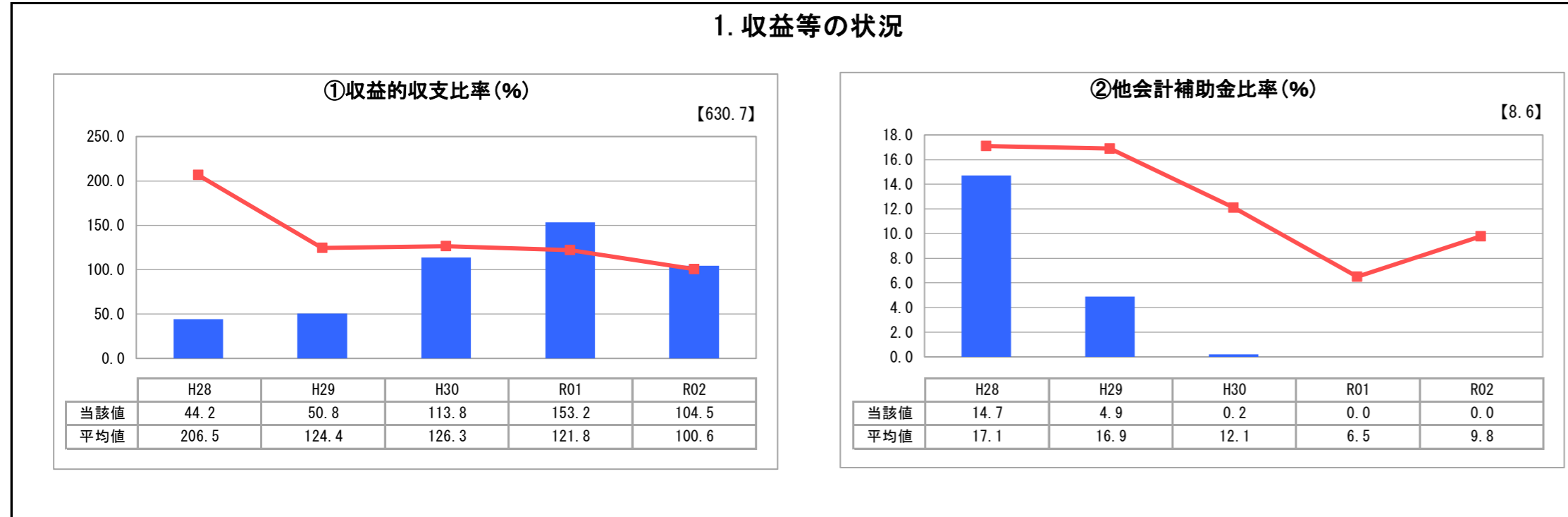
兵庫県芦屋市 JR芦屋駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	24	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	9,570
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
160	500	無

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 平成30年度をもって償還金の返済が完了し、令和元年度以降は繰入金が無くなったことで、各指標の数値の改善が進んだが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が、利用台数の減少として本格化し、結果として料金収入の低下につながった。今後も収束が見通せない中、次年度以降の収益等の見通しは、不透明な状況である。

2. 資産等の状況について
 施設建設から20数年が経過し、今後設備更新に多額の費用を要することを見込んでいる。
 企業債残高対料金収入比率は、償還金の返済が完了しているため、引き続きゼロの状態となる。

3. 利用の状況について
 長期修繕計画に基づき、適切な設備更新にあわせて利便性を高める改良を行っているが、稼働率は新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、依然として全国平均を超えているものの、低下傾向となっている。

全体総括
 償還金の返済完了により、各指標の数値改善が進んだが、その一方で新型コロナウイルス感染症収束が見通せず、影響が長期化するおそれが懸念材料となっている。
 今後予定している設備更新について、より適切な時期を見極め、現在の稼働状況に応じた適切な能力・規模の設計を行い、利用料金とのバランスを考慮し、より効果的・効率的な設備の導入及び管理運営に努める。